

令和2年度（2020年度） 第3回草加市地域経営委員会会議録（概要版）

1 開催日時

令和2年（2020年）11月13日（金）午前10時から午前11時30分まで

2 開催場所

草加市役所西棟5階 第1、2会議室

3 出席者の氏名

- (1) 委員 森勇一委員、原恵美子委員、樋田勉委員、大谷基道委員
大久保和敏委員、安藤ちづる委員
- (2) 事務局 総合政策部 多田部長、川西副部長
総合政策課 平木課長、鈴木課長補佐、夢田主席主査、
谷口主査、三浦主事、高見主事

4 会議の議題

- (1) 傍聴人について
- (2) 会議録の署名委員について
- (3) 第2回委員会の議題（第2期草加市版総合戦略）における確認事項について
- (4) 行政評価結果の検討（施策34（旧施策32））について
- (5) 令和3年度 施策評価市民アンケートについて
- (6) その他

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人

0人

7 審議の結果

- (1) 傍聴人について
- (2) 会議録の署名委員について
 - ・大久保和敏委員と安藤ちづる委員を会議録署名委員に指名した。
- (3) 第2回委員会の議題（第2期草加市版総合戦略）における確認事項について
 - ・確認事項について報告を受けた。
- (4) 行政評価結果の検討（施策34（旧施策32））について
 - ・別添資料に基づき、検討した。
- (5) 令和3年度 施策評価市民アンケートについて
 - ・別添資料に基づき、検討した。
- (6) その他
 - ・次回会議を2月4日（木）午前10時とする旨周知された。

8 主な意見

- (1) 傍聴人について
- (2) 会議録の署名委員について
 - ・特になし。
- (3) 第2回委員会の議題（第2期草加市版総合戦略）における確認事項について
 - ・特になし。
- (4) 行政評価結果の検討（施策34（旧施策32））について
 - ・居住年数が1年未満の人よりも21年～30年、31年以上居住している人のほうが満足度は低く、また重要度については18、19歳と比較して、20、30代の子育て世代や、自分たちが病院を受診することが多い60、70代のほうがより重要だと感じているとの分析結果だった。
 - ・以前（移転前）の市立病院を知っている者からすれば非常に良くなっている。
 - ・実際に受診された方に対する医療に関する不満を拾うアンケートを実施してもらいたい。
 - ・市立病院の医師が短期間で変わることも不満の一因ではないか。
 - ・一次・二次医療の連携を知らない人はまだ多く、知らない人からはその連携が不満に思われてしまうのではないか。
 - ・ホスピタリティのある病院として充実させていくことが必要ではないか。
 - ・市立病院で全てに対応することは難しいため、広域医療圏の中でその役割分担において対応していることを説明すれば納得してもらえるのではないか。
- (5) 令和3年度 施策評価市民アンケートについて
 - ・アンケートの回答件数を増やすことが目的であるならば、対象者数を増やせば回答者数も当然増えるので、対象者数を増やすことを検討するべきではないか。
 - ・アンケートは草加市の取組のアピールにもなり、またご意見を頂くことは非常に意義があるので、今後も伸ばしていければいい。
 - ・業者によって回収率が変わることもあるため、業者選定も重要になる。
 - ・データを十分に活用するために対象者数を増やすことは非常に大事なことであるが、同時に回答をしないようなタイプの方の情報を引き出すために未回答の方の回答を増やす努力も必要。
 - ・案内の1ページ目に二次元コードを表記してアクセスしやすくするなど、WEBで回答しやすい工夫をしたらどうか。特にスマートフォンで回答できるような工夫をしたほうがいい。
 - ・コロナ禍の状況のため思い切りシンプルなアンケートにしてもいいのではないか。
 - ・アンケート調査用冊子や回答用紙は白黒でも問題ないと思う。マンガはあってもいいのではないか。またIDやパスワードは個人情報と特定されると気にされる方もいるので、郵送とWEBの重複回答がそれほどないのであれば、記載しないこともありではないか。
 - ・負担が重いという意見が多いため、今後施策を分割することや問題がない施策などの項目を除くことを検討したらどうか。
 - ・アンケートの調査用冊子に市の総人口や年齢ごとの人口を表記すれば、市の取組を知るきっかけになるのではないか。

(6) その他

・特になし。

9 審議の概要

詳細な会議録は、市役所情報コーナーで公開する。